



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社戸上電機製作所

コード番号 6643 URL <https://www.togami-elec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸上 信一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 管理本部長 (氏名) 仁部 和浩 TEL 0952-24-4111

四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	12,704	11.5	840	106.3	1,068	47.2	706	30.4
2023年3月期第2四半期	11,391	5.3	407	12.4	725	50.9	541	55.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 982百万円 (49.0%) 2023年3月期第2四半期 659百万円 (42.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	142.62	—
2023年3月期第2四半期	109.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	29,059	19,670	67.0
2023年3月期	28,819	18,910	65.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 19,472百万円 2023年3月期 18,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2024年3月期	—	40.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	45.00	85.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	2.8	1,820	3.3	2,150	2.0	1,500	4.7	302.73

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	5,028,658株	2023年3月期	5,028,658株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	74,333株	2023年3月期	74,172株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	4,954,389株	2023年3月期2Q	4,955,036株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、資源価格の高止まりや世界的な金融引き締め、円安の進行を背景とした物価上昇など、先行き不透明な状況が続いておりますが、雇用や所得環境が改善する中で経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、全社的な業務改善とムダの廃除やDX推進等を柱として安全・品質・コスト・納期の最適化や販売価格の適正化に取り組んでまいりました。

その結果、電磁開閉器や電力会社向け配電自動化用子局の需要は減少したものの、配電用自動開閉器や配電盤及びシステム機器の需要が堅調に推移したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,704百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加や一部製品において材料コストの上昇に伴う価格改定を実施したことなどにより、営業利益は840百万円（同106.3%増）、経常利益は1,068百万円（同47.2%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、706百万円（同30.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①産業用配電機器事業

産業用配電機器事業の売上高は10,339百万円（同12.9%増）となりました。製品区分別の詳細は以下のとおりとなります。

（電子制御器）

電磁開閉器につきましては、欧州環境対応機器などによる海外向け需要が好調に推移しましたが、一部海外向けにおいて計画を下回ったことにより、売上減となりました。

電力会社向け配電自動化用子局につきましては、一部製品において部品入荷が滞り生産に影響が生じたため、売上減となりました。

その結果、電子制御器全体の売上高は3,014百万円（同5.5%減）となりました。

（配電用自動開閉器）

主力製品である波及事故防止機器（通称SOG開閉器）につきましては、継続的に回復してきた需要に加え、一部製品の価格改定に伴い、売上増となりました。

電力会社向け配電用自動開閉器につきましては、次世代型への更新需要の拡大や配電設備の取付工事の推進などにより、売上増となりました。

その結果、配電用自動開閉器全体の売上高は5,581百万円（同15.2%増）となりました。

（配電盤及びシステム機器）

配電盤につきましては、調達部品の入荷遅延の影響や案件先送りなどがあったものの設備更新案件や定期メンテナンス等の需要により、売上増となりました。

システム機器につきましては、新規顧客の開拓や設備更新工事等の需要の増加、排水処理施設に関する工事案件数の増加により、売上増となりました。

その結果、配電盤及びシステム機器の売上高は1,743百万円（同55.5%増）となりました。

②プラスチック成形加工事業

樹脂成形分野における部品等につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた自動車業界の需要が回復傾向に転じたことから、売上高は1,495百万円（同4.1%増）となりました。

③金属加工事業

金属加工における部品等につきましては、産業用機械の需要が好調に推移したことから、売上高は834百万円（同9.7%増）となりました。

④その他

プラスチック成形加工事業に付随する金型加工やソフトウェア開発等につきましては、需要が減少したことから、売上高は34百万円（同11.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は19,786百万円となり、前連結会計年度末に比べ102百万円増加いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が385百万円増加したことによるものであります。固定資産は9,273百万円となり、前連結会計年度末に比べ138百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産に含まれる投資有価証券が312百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は29,059百万円となり、前連結会計年度末に比べ240百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は6,438百万円となり、前連結会計年度末に比べ532百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が528百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,951百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が13百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は9,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ519百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は19,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ759百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が483百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の景気動向が業績に与える影響につきましては現在精査中であり、通期の業績予想につきましては、2023年5月9日に公表しました業績予想を据え置いております。なお、業績予想を見直す必要が生じた時は、速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,811,505	6,324,536
受取手形、売掛金及び契約資産	5,211,962	5,392,138
電子記録債権	1,011,094	1,136,896
商品及び製品	1,373,144	1,447,663
仕掛品	1,629,130	1,498,539
原材料及び貯蔵品	2,305,307	2,690,768
その他	1,342,512	1,296,198
流動資産合計	19,684,658	19,786,741
固定資産		
有形固定資産	5,039,135	4,892,231
無形固定資産	382,667	413,411
投資その他の資産		
その他	3,716,180	3,970,628
貸倒引当金	△3,100	△3,100
投資その他の資産合計	3,713,080	3,967,528
固定資産合計	9,134,883	9,273,170
資産合計	28,819,541	29,059,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,741,414	2,212,834
電子記録債務	1,692,183	1,681,117
短期借入金	336,315	328,000
未払法人税等	355,828	370,328
賞与引当金	745,632	743,119
完成工事補償引当金	—	8,842
その他	1,098,763	1,093,775
流動負債合計	6,970,138	6,438,017
固定負債		
退職給付に係る負債	2,811,810	2,825,332
その他	126,982	126,190
固定負債合計	2,938,793	2,951,523
負債合計	9,908,931	9,389,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,899,597	2,899,597
資本剰余金	580,212	580,212
利益剰余金	14,895,808	15,379,436
自己株式	△72,323	△72,642
株主資本合計	18,303,294	18,786,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	156,602	372,066
為替換算調整勘定	259,670	313,988
退職給付に係る調整累計額	8,921	△230
その他の包括利益累計額合計	425,195	685,824
非支配株主持分	182,120	197,942
純資産合計	18,910,610	19,670,371
負債純資産合計	28,819,541	29,059,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	11,391,540	12,704,350
売上原価	9,243,883	10,141,242
売上総利益	2,147,656	2,563,107
販売費及び一般管理費	1,740,393	1,722,780
営業利益	407,263	840,326
営業外収益		
受取利息	693	1,322
受取配当金	28,120	24,995
為替差益	196,024	157,767
鉄屑売却収入	46,955	4,794
保険返戻金	2,746	—
その他	61,083	45,551
営業外収益合計	335,624	234,431
営業外費用		
支払利息	1,379	1,258
投資有価証券売却損	—	1,830
金銭の信託運用損	7,425	—
固定資産除却損	187	1,530
訴訟和解金	5,000	—
その他	2,913	1,404
営業外費用合計	16,905	6,024
経常利益	725,982	1,068,734
特別利益		
固定資産売却益	172	171
特別利益合計	172	171
税金等調整前四半期純利益	726,154	1,068,905
法人税、住民税及び事業税	201,839	348,624
法人税等調整額	△23,795	1,500
法人税等合計	178,044	350,125
四半期純利益	548,110	718,780
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,132	12,201
親会社株主に帰属する四半期純利益	541,977	706,579

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	548,110	718,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,605	218,927
為替換算調整勘定	133,155	54,317
退職給付に係る調整額	11,979	△9,151
その他の包括利益合計	111,528	264,093
四半期包括利益	659,639	982,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	653,413	967,209
非支配株主に係る四半期包括利益	6,225	15,665

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。